



ゴロスケ報々



イラスト：森の絵本づくりの会

友の会活動報告

●望年会の報告●

2日前の天気予報では12月22日午前中は雨の予報でしたが、当日は曇りで、屋外で餅つき、豚汁、焼き芋ができました。

日時：2019年12月22日 9:00~13:30

場所：観察センター前広場

参加者：友の会会員 36名

会長挨拶のあと、1日はセンターと炭小屋用鏡餅 2、3日は参加者用餅の餅つきを行いました。餅の調理 豚汁と焼き芋の調理の間に、落ち葉拾いを行いました。

参加者一同 うまい餅 豚汁 焼き芋を美味しくいただきました。午後1時半、各PJの活動状況報告があり、2020年度の更なる活動を期待し閉会しました。

ZFC 吉田

友の会目標

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

森のこぼれ話

ふむふむ

煙の話

大学応用化学科2年生の息子が実験レポートで苦しんでいるのを見ながら、勉強ってやっぱり大変だなあと呑気に構えていると、関わっているいろんな団体の資料やら原稿作成やらが大量に滞っている自分に気づいて少しやっっては家事や仕事や雑事にかまけて、また忘れてしまって、思い出して慌てるということを繰り返す。

さて、化学の基礎は昔と大差はないようで、他の分野に比べて30年前の自分の知識や資料が役に立つ割合も多く、少し安心する。ふと、昔時々ZFC通信などの原稿に書いたりした「炭焼きの科学」を思い出す。

冬は煙の季節だ。そう書くとなんとなく情緒もある。息子が小学生の頃、望年会に連れて行くと餅米用の蒸籠（せいろ）や豚汁の煮炊き程度の些細な煙でも目に染みると言って過剰に避けていたのを思い出す。無理もない、キャンプにでも行かない限り煙を浴びる経験は皆無の便利な生活環境である。1970年生まれ自分でもまだ小学校の理科の教科書には木材の乾留（試験管に入れた木片を外から加熱して炭にする）実験が掲載されていたが、ゆとり世代までには消滅、脱ゆとり・詰め込み回帰世代の息子の教科書でも復活はしなかった（と息子は記憶している）。試験管がタールで汚れて使い物にならなくなるのも一因のようだ。

しかし、煙が目に染みることぐらいは教えておいてもらいたいと思う。焚火もできなくなった都市部では難しいかもしれないが、白い煙は主成分が水と酢酸、酢酸は木材成分の半分を占めるセルロースが由来、などということはいくら教科書に書いても、体験無くしては、酢だから目に染みなのだという理解には程遠い。まして火災時の新建材による黒い煙の怖さなど、伝わりはすも無い。放火事件などではさぞかし怖い思いをしたことだろうと想像する。煙を知っている世代の何百倍も怖い思いをしたら、大変なパニック状態になったであろうことは容易に想像がつく。

いざという時のために、普通の煙で、対処方法を体得しておくことは、大事なことなのかもしれない。観察の森には、情緒のある、比較的安全な煙が、炭焼き小屋付近にある。煙の苦手な、若い世代や、子どもたちにこそ、焼芋でもやりながら、煙が目に染みる体験をしてほしいと思う。

「人類の科学知識量は9ヶ月で2倍に増え、1年で30%時代遅れになっていくらしい。つまり意識してもものすごいスピードで更新していかない限り、今の知識で5年後に使える知識は15%ぐらいしかない。例えば、5年間勉強しない医者診断が当たる確率は15%」という話のある講演で聞いた。こうなると怠惰な自分などは新しい知識など覚えても仕方がない、勉強などやめてしまおうかと思ってしまう。しかし、日常使える知識は、体験と共に身に付き、いざという時に威力を発揮する。人類の体験量は、そう簡単には増えていかないと思う。自然環境との関係を体験できる場所や機会というのは、ますます貴重なものだと、改めて思う。

生き物の世界はもちろん、木質化学のような、身近な科学についても、観察の森には興味深い話題がたくさんあるが、紙面が尽きてしまったので、もっと面白い話は、またの機会にする。

※煙は高温の場合もあります。やけどには注意しましょう。また、一酸化炭素など無味無臭の有害成分や、天然由来の有毒成分が含まれる場合があります。浴び過ぎには注意しましょう。

(やまひょん)

(※字が多くて、小学生が読めるような書き方でなくて、ごめんなさい。反省。)

●第32回定期総会のお知らせ●

2019年度は長期目標・中期計画の策定をはじめ様々な事業への参加・協力ありがとうございました。新計画のもと、2020年度も引き続きよろしくお願い致します。総会は1年の成果を共有し、次へつなげていく機会です。会員の皆様の参加をお待ちしています。

日時 2020年4月5日(日) 10:00～

場所 自然観察センター研修室

議案 ・2019年度事業報告・決算報告 ・2020年度事業計画・予算 ・理事監事の選任
・その他

◆終了後、「森の説明会」(隔月開催の「森を守るボランティア体験」のオリエンテーション部分=観察の森の役割、活動案内、園内のルールなど。30分程度)を希望者向けに開催します。森ボラにまだ参加していない会員の方は、この機会にぜひご利用ください。(当日受付時に事務局までお声かけください。)

●友の会の理事や担当(交流行事準備などの事務局お手伝い)を募集しています!

<新入会員・初心者歓迎!>

行事のお手伝いなどから気軽に活動を始めてみませんか? これまでに学生等でも理事として活躍した例があり、どなたでも大丈夫です。理事の会員公募枠(3名以内)は幅広く推薦・立候補を募集しています。

<学習機会やボランティア事始めなどとしても最適!>

何かと役立つグループ運営の実践や活動を知る機会として、フィールドの魅力にも支えられながら気軽に参加いただけます。希望者は事務局メンバーや各PJへご相談ください。

●1月定例会報告●

日時 2020年1月19日(日) 9:00～11:00

出席者 青木、秋元、今村、上原、大浦、大西、落合(議長)、小島、志釜、関根(書記)、中里、西山、山口、吉田、渡部、掛下R、尾崎R

議題

1. 行事報告

11月下旬から12月中旬の行事報告、活動報告をおこないました。行事は予定通り行われました。

2. 行事予定

2月中旬から4月中旬までの行事予定の確認とごろすけ館の利用調整をおこないました。

3. 事務局より

・ゴロ報の内容検討

各PJでまとめていただいたアンケート回答をもとにゴロ報の内容を検討し、本定例会でも話し合いを行い、今後のゴロ報の内容見直し方針を決定しました。概要を次ページにまとめました。

4. センターより

「観察センターだより」のページをご覧ください。

次回定例会は

3月15日(日) 9:00～ 観察センター研修室

定例会は会員の方どなたでも参加できます。

同日11:00～ 理事会も予定されています。

●ゴロ報内容見直しについて●

アンケート回答では、内容的には現状で充分、対外PRはゴロ報以外の別媒体（ホームページや行政広報メディア等）で行う方が良い、という意見が殆どでした。その結果をもとに定例会にて下記方針を決定しました。

- ① 現状通り会員向けの内容とし、基本的な内容も現状通りとします。
- ② PJを中心にした活動の紹介、森の自然情報などに力を入れていきます。

具体的取り組みとして、

- ・友の会ブログの過去記事のゴロ報への再掲載（季節の自然情報として前年同時期のブログを再掲載）
- ・ページレイアウトや記事配列の若干の変更

また、会員皆様からの投稿も随時お受けしていますので、ぜひ積極的な投稿をお願いします。

なお、対外PRについては、アンケート回答でもマンパワーとコスト両面での負担増加を懸念する意見が多く、今回は検討を行わないことにしました。

●1月理事会報告●

日時 2020年1月19日（日） 11:10～13:00

出席者 青木、秋元、今村、大浦、落合、小島、関根、中里、中塚、西山、山口、吉田、掛下R、尾崎R（欠席：漆原、村松）

1 長期目標・中期計画

- ・長期目標及び中期計画（基本方針）を決定しました。中期計画（3ヶ年）の具体内容（（ ）内の表記等）は指定管理（センター）の方針も考慮して3月に検討します。

【長期目標】 「未来へつなぎ、みんながつながる、生きものにぎわいのある森」

- 【中期計画】
- ・生物多様性を育む豊かな自然環境を次の世代へつなぎます。
（→ 現計画の「保全管理計画を活かします」を基本的に踏襲）
 - ・多くの人々を豊かな自然環境につなぎます。
（→ 同「情報発信を充実させます」を基本的に踏襲）

2 次年度事業計画

- ・行事計画・PJ活動計画の集約について定例会で確認した旨、報告がありました。

3 定期総会準備

- ・理事監事選出案について確認しました。

4 利用推進会議（後期）

- ・3月7日（土）13:00～15:00

5 安全管理

- ・次年度安全管理講習会の企画案（子どもたちの発達、その理解と対応）が承認されました。5月開催予定。詳細はゴロ報4月号にて。

6 その他

- ・指定管理者決定（選定評価委員会報告書、管理変更点、基本方針）について市担当者及びレンジャーから報告がありました。
- ・カレンダー残部を半額とした件の報告がありました。（1/19時点残り9部）

<次回理事会>

日時 3月15日（日）11:00～（定例会終了次第、早めに開始）

場所 自然観察センター研修室

議題 定期総会準備、安全管理、その他

★新コーナー★

森の自然情報 ブログより

先日実施したゴロ報アンケートで会員の皆様からいただいたご意見をもとに、今月号よりゴロ報の新企画として、森の自然情報などを発信するコーナーをスタートさせます。

前年同時期の友の会ブログ（森のできごと）の記事などを再掲載して、この季節の森情報をお知らせする企画です。ぜひご一読いただき、このコーナーに対する皆様のご意見、ご要望を事務局メンバーや各PJにお寄せください。

今回は、表紙絵のヤマアカガエル関連の記事として、2019年2月7日付け野草の調査と保護さんのブログの一部を再掲載させていただきました。紙面の都合上、文字が小さくなってしまいすみません。

編集担当 今村

春間近のモニ1000

2月5日はモニ1000植物相調査の日でした
前日は3月の陽気という暖かさでしたが、この日は一転寒い日となりました
しかも途中から雨がパラパラ
幸い大したことが無く最後まで調査を続けることが出来ました

調査の前に森の様子を、と長倉口から入りました
静かな森です
アオジ一羽も出ません
ゲンジの湿地を覗くとありましたよヤマアカガエルの卵が



その数およそ16 正確ではありませんが間違いなく15個以上の卵塊です
1月31日の雨以降に今季初の産卵が開始され、こもその後の雨で産卵されたようです
昨年よりだいぶ遅い時期ですが、まずはヨカッタヨカッタ

またまたゲンジの湿地
今度はヤマアカガエルの声もします 姿も見えます



雄が雌に懸命にアピールしているのでしょうか
声は湿地の方ばかりでなく後ろの流れからも聞こえてきます
次に来たらもっと卵塊が増えていることでしょう

今日は雨なので森の中がもっと潤うと思うので生き物たちも元気になることでしょうね
7日の作業の日が楽しみです

野草の調査と保護 上原

●新年度会費納入について●

事務局からのお知らせ

新年度会費について、振込用紙を同封しました。金額を確認の上、できるだけ早く郵便局からお振込みいただきますようお願いいたします。

<振込期限（厳守）> 3月19日（木）まで（ボランティア保険を途切れなくかける都合上）

- ・ 大人会費 2,000円 子ども会費 600円 家族会費 3,500円
（家族会費は同居の小学生以上なら何名でも同額ですが、入会申込が各自必要です。）
- ・ 振込手数料は、各自でご負担ください。
- ・ 郵便番号・住所・電話番号など訂正のある方は、通信欄に記入をお願いします。

振込先口座番号：00240-1-59172 横浜自然観察の森友の会

【お知らせ】指定管理者に決定しました。これからもよろしくお願いいたします

自然観察の森では4月より指定管理者制度が導入されます。この制度は、公の施設の管理に民間のノウハウを活用しながら、市民サービスの向上と経費の節減を図るものです。昨年12月19日の市議会での可決をもって、(公財)日本野鳥の会は2020年度から5年間の指定管理者に決定しました。制度の導入によって、友の会の活動が大きく変わることはありません。これからも友の会の皆さんと市と野鳥の会の3者協働の連携を大切に、より一層森の保全と調査・教育活動に、さらには周辺緑地も視野に入れながら活動に取り組んでまいります。4月からも引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

【報告】第5回 保全管理フォローアップの会 (1/11 (土) 13~15時)

○参加者：友の会7名(池澤正秀さん、今村修さん、片岡章さん、岸本道明さん、藤原功さん、星隈豊さん、渡部克哉さん) みどりアップ推進課1名(山野崇さん)
レンジャー2名(掛下尚一郎、中沢一将)

○内容：ピクニック広場の植生は、多年生の草本を中心に様々な植物が生育し、さながら群雄割拠のような状況でした。しかし最近ではエリアごとに生育する種類が、かなり落ち着いてきたように見受けられます。そのような中、広場の炭小屋側にあるオギ群落の一部がクズに覆われ被圧されてしまっていました。ここには注目すべき種としてツルフジバカマがオギとともに生育しています。それらの保全を優先するため、今回はクズを根から取り除く作業をおこないました。



クズの根掘りはほとんどの参加者が初めてで、スコップ、クワ、複式ショベルなどの道具を駆使しながらクズと悪戦苦闘しました。根は思いのほか横に広がっており1時間半ほどかけて、400㎡くらいのエリアを取り除きました。主根は地中深くまで侵入していたため完全に除去できたわけではありません。残った根から再び成長してくるおそれもあるため、今後のクズの出現具合をモニタリングする必要があります。

【予定】第6回保全管理フォローアップの会 勉強会 ★参加者募集

- ・日時：3/14 (土) 13~16時
 - ・テーマ「身近な鳥たちを目印にして管理の効果を測るⅡ
ボイスレコーダーを使って野鳥を調べてみよう(仮)」
 - ・講師：藤田 剛さん(東大・助教)
- 上記のようなテーマで勉強会を計画中です。詳細はメールリストでお知らせいたします。

【予定】保全管理懇談会(後期)のお知らせ 3/7 (土) 15~17時 ★参加者募集

今年度、横浜市とレンジャーの行った環境管理作業(草刈や伐採など)、補修工事の確認、今後の保全管理について意見交換を行います。園内の環境管理に関心をお持ちの方なら、どなたでもお越しください。

◎どちらも、資料の準備の都合上、ご出席いただける方はできるだけ前日までに掛下(kakesita@wbsj.org)か中沢(nakazawa-k@wbsj.org)までご連絡ください。

【お知らせ】感謝状を贈呈されました

環境省生物多様性センターより横浜自然観察の森へ感謝状が贈呈されました。これは、モニタリングサイト 1000（モニ1000）里地調査の平成25年度から29年度までの取り組みに対するものです。モニ1000は全国の自然の変化を継続して記録する仕組みで、そのデータは研究や保全活動に役立てられています。

観察の森では、レンジャーにより水質、鳥類の調査、友の会との協力により哺乳類、植物、チョウ類、ホタル、カエル類の調査に参加しています。



【報告】森の生きもの講演会「知りたい！モグラのくらす世界」

今年度の「森の生きもの講演会」は1月26日（日）にモグラをテーマに開催しました。講師は、国立科学博物館の川田伸一郎氏です。講師の専門はモグラの分類で、染色体や体のつくりから日本と世界のモグラの種の整理や新種の記載をしてきました。午前中、モグラがいかに地中の生活に適応しているか、標本を使い体のパーツごとに注目しながら解説してもらいました。また、長年のフィールドワークと研究から推測できるモグラの生活史についてお話を伺いました。午後は、捕獲したモグラを使って、穴を掘る様子、泳ぐ様子など、行動を観察しました。モグラは飢えにはとても弱いものの、十分にエサを与えた状態ならストレスには強いそうです。フィールドワークは雨のため短縮となりましたが、草地で、モグラ塚やトンネルの痕跡を探したり、罠の実演を見学しました。最後は感謝とともにモグラを捕獲したトンネルへ戻しました。

イベントを通して、参加者からは切れ目なく質問が続いたのが印象的でした。

※自然観察の森とその周辺は鳥獣保護区のため神奈川県知事の許可のもとモグラの捕獲をおこないました。

※川田先生監修のモグラの科学絵本がセンターにあります。ご覧になりたい方はお声掛けください。



ホランシアさん

** 12/1~1/31 **

ありがとう

12/1~ カワセミファンクラブのみなさま 自然情報のご提供

12/1~ 野草の調査と保護プロジェクトのみなさま 開花情報のご提供

12/3~ 有志のみなさま アライグマわなの巡回

12/8、1/12 鳥のくらし発見隊のみなさま 野鳥情報の提供

12/7 石川裕一さん センター主催行事へのご協力

12/21 今村修さん 岩崎由春さん 石黒陽子さん 中里幹久さん 上原明子さん 水上重人さん センター主催行事へのご協力

12/22 雑木林ファンクラブのみなさま センター前水道の清掃のご協力

12/22、1/15 雑木林ファンクラブのみなさま ストーブ用薪のご提供

1/16 中里幹久さん 田丸義夫さん 上原明子さん 今村修さん センター主催行事へのご協力

1/22 雑木林ファンクラブのみなさま コナラの道の倒木の運び出しへのご協力

1/26 水上重人さん 矢島静さん センター主催行事へのご協力

横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org <http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

行事スケジュール 2月～4月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●友の会 季節行事●

●第32回定期総会

4/5(日) 10:00～

会場：自然観察センター研修室

★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜

～友の会活動内容紹介と森のルールを～

4/19(日) 9:30～14:00 雨天決行

受付：直接、自然観察センター研修室へ

対象：どなたでも ※小学生以下は保護者同伴

担当：自然と遊ぼう 他

●自然観察センター主催行事●

■春のバードウォッチングCafé

観察の方法を一步深めよう。観察後は講師(日本野鳥の会理事長の遠藤孝一)によるサシバと渡り鳥のレクチャーをコーヒーとご一緒に。

双眼鏡貸出あり。

日時：3/11(水) 10:00～14:30

対象：中学生以上 30名(抽選) 無料

申込：下記を明記し、メールまたはFAXで申込み。

①行事名と開催日

②参加者全員の名前

③電話番号、FAX番号

④野鳥観察は初めてか(はい・いいえ)

⑤情報源(本行事を何で知ったか)

⑥落選時にキャンセル待ちを希望するか
(はい・いいえ)

締切：3/3(火)

FAX 045(894) 8892

Eメール yokohama-nc@wbsj.org

発行日 2020年2月16日

発行 横浜自然観察の森友の会

F A X 045-894-8892

E-mail: kansatsunomori@gmail.com

●友の会 定例行事●

●季節の森を歩こう(園内の自然案内)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～

3/1(日)・4/5(日)

1回目 11:00～ 2回目 13:00～

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：どなたでも

担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～

3/8(日)・4/12(日)

9:00～13:00 少雨決行

受付：自然観察センター前にて

対象：どなたでも (双眼鏡・図鑑貸出あり)

担当：鳥のくらし発見隊

毎月第2日曜

●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～

3/18(水)・4/15(水)

10:30～12:00 絵本製作

受付：ごろすけ館 対象：どなたでも

担当：森の絵本づくりの会

毎月第3水曜

●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～

3/21(土)・4/18(土)

10:00～12:00 雨天中止

受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも

担当：畑プロジェクト

8月を除く毎第3土曜日

●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～

3/28(土)・4/25(土)

13:30～14:30

(※2020年度も1日1回の開催になります。)

受付：30分前から 自然観察センター前にて

対象：子どもから大人までどなたでも

担当：自然と遊ぼう

毎月第4土曜